

基本コース

検査項目一覧表

	項 目		検 査 の 説 明	
生 理 検 査	身 体 測 定	身長・体重	身長と体重を測定し、標準体重・肥満度の計算をします。	
		標準体重・肥満度		
		腹 囲	腹囲は息を吐いた状態で、へその周囲を測定します。	
		体格指数(BMI)	$BMI = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)} \div \text{身長(m)}$	
	血 圧	血圧測定	血液が流れる時に血管にかかる圧力を測ります。高血圧の持続は動脈硬化を進行させ、心臓病や脳血管障害の原因となります。	
		眼 科	視力検査	裸眼・矯正視力を検査します。メガネ、コンタクトレンズをご持参下さい。
	眼圧検査		緑内障や高血圧の影響を検査します。	
	眼底検査		網膜を観察し、緑内障や白内障など眼の病気の可能性がないかを診ます。血管も見えるので、動脈硬化についても分かります。	
	聴 力	1000Hz～		会話領域と高音領域の耳の聴こえの検査です。
	心電図		心臓の筋肉に流れる電流を体表面から記録します。 不整脈や虚血性心疾患を発見する手がかりとなります。	
	超音波	腹部・甲状腺	超音波を出す装置(エコー)を目的部位に当てて、内部を画像として映し出す検査です。	
	肺 機 能	肺活量	呼吸機能を総合的に評価する検査です。 肺の閉塞性障害や拘束性障害がないか調べます。	
%肺活量				
1 秒量				
1 秒率				
X 線	胸 部	胸部は心臓、大動脈に異常な影がないかを調べます。	胃部はバリウムを飲む胃のレントゲン検査です。胃・食道・十二指腸に異常がないか調べます。	
	胃 部			
尿	pH、比重、蛋白、糖、ウロビリノーゲン、潜血を調べます。 尿中に排泄される蛋白質・糖分・血液などを調べ、肝疾患・糖尿病・腎臓病・尿路感染などを調べます。			
便	潜 血	便を2日分採取していただき、血液の混入があるか検査します。 消化管の出血性病変の存在が分かります。		
血 清	TPHA(梅毒検査)		梅毒に感染しているか、または過去にしていたかを判定します。	
	HBs抗原(B型肝炎検査)		B型肝炎に現在感染しているか調べます。	
	HCV抗体(C型肝炎検査)		C型肝炎に感染しているか、または過去に感染したかどうかを調べます。	
	CRP(定量)		CRPは炎症があると高値になります。	
	RF(定量)		慢性関節リウマチなどで高くなりますが、リウマチ以外でも上がることがあります。	
血 液 検 査	白血球数		白血球は感染症や炎症を知るための重要な検査です。急性の炎症・感染症・白血病などで増加します。また喫煙でも多くなります。	
	赤血球数 ヘモグロビン ヘマトクリット		赤血球は細胞へ酸素を運び、二酸化炭素を受け取って肺に運びます。 この中心的役割を担っているのがヘモグロビンです。 ヘマトクリットは血液中に含まれる赤血球の割合を%で表します。	
	血小板数		血管損傷時に止血作業を行うのが血小板です。少なくなると出血が止まらなくなり、多くなると血栓症の原因にもなります。	
	MCV MCH MCHC		MCVは赤血球の容積、MCHは赤血球中のヘモグロビン含量、 MCHCは赤血球中のヘモグロビン濃度を表しています。 3つの値を組み合わせることで、どのような種類の貧血なのか調べます。	

	項 目		検 査 の 説 明
血液検査	白血球分画	好中球	体内に細菌や異物が侵入すると、血液中の白血球が増えます。 その白血球を詳しく調べると、好中球、リンパ球、単球、好酸球、好塩基球の5種類の分画に分けられます。それらは病気によって分画が違ってきます。 白血球の分画ごとの増減数を調べ、様々な病気の手がかりとする検査です。
		リンパ球	
		単球	
		好酸球	
		好塩基球	
肝機能	GOT(ALT)		GOT(ALT) やGPT(AST)は肝臓内に存在する酵素で、肝臓障害があると血液中に漏れて高値となります。
	GPT(AST)		
	ALP		ほとんどの臓器にある酵素ですが、主に肝機能や十二指腸の異常があるかどうか調べます。
	LDH		肝機能などさまざまな病気で高値を示します。スクリーニング(ふるい分け)検査として用います。
	γ-GTP		肝臓や胆道系の障害で上昇します。アルコールの摂取にも敏感に反応します。
	総ビリルビン		黄疸の指標としても利用する項目です。
	総蛋白		栄養状態や肝臓の動き・腎臓の異常等をみる項目です。
	A/G比		
	アルブミン		
	コリンエステラーゼ		
脂質	総コレステロール		数値の上昇で、動脈硬化の兆候やその進行をみる検査です。 肝機能の改善などにも役に立つので、低すぎる値にも注意が必要です。
	中性脂肪		肥満や食べ過ぎ、飲み過ぎ、運動不足などで値が高くなります。
	HDLコレステロール		善玉コレステロールで、少ないと動脈硬化の危険性が高くなります。
	LDLコレステロール		悪玉コレステロールで、多すぎると心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険性を高めます。
	nonHDLコレステロール		動脈硬化の進行具合を表します。
腎・痛風	尿素窒素		腎臓の機能をみる検査です。
	クレアチニン		数値が高いと腎臓の機能が低下していることを意味します。
	尿酸		高値が持続すると痛風や尿路結石の原因となります。
	ナトリウム		血液中の電解質のバランスをみる検査です。
	カリウム		
	クロール		
	カルシウム		
	無機リン		
	eGFR		腎臓の機能の評価をします。
膵臓	血清アミラーゼ		膵臓が産生する消化酵素です。膵臓の炎症や腫瘍などにより高値となります。
糖代謝	血糖 空腹時		血糖値は糖尿病発見の手がかりとなります。
	HbA1c		過去3ヶ月程度からの血糖値を反映する検査のため、長期的な糖代謝を診ることができます。
血清蛋白分画	血清蛋白異常症のスクリーニング		血清中の各種蛋白のバランスをみることで、炎症などの病的状態が分かります。 またM蛋白血症など、異常蛋白の有無も分かります。